

揖斐高等学校新聞

第181号
H23. 7. 22

発行所
揖斐郡揖斐川町三輪
岐阜県立揖斐高等学校
ホームページ
<http://school.gifu-net.ed.jp/ibf-hs/>
発行責任者
安藤敏彦
編集
揖斐高報道委員会
印刷
株式会社西清プリント

「基礎学力の定着」ということ

校長 安藤敏彦



卒業までの学習内容を学んでいます。教室では、各生徒が配られた課題プリントに向かい、解答後自己採点するのですが、二人の先生が随時時間巡視しながら質問に答えたり、励ましたりしてくれます。

平成二十一年度の高校中退者は全国で約五万七千人。それ以前平成十六年度から平成二十年度までが七万人台で推移していたことを思えば、昨年度は大きく減少しています。しかし、「中退率が約二％」と聞くとう、「五十人に一人が退学」という「数字に唖然」とします。

同様の取組は、千葉県教育委員会も実施していて、「実践研究・地域連携アクティブスクール」と名付けた高等学校教育改革推進事業を県立高校四校で立ち上げています。

退学理由は、個々の生徒によって様々ですが、「授業の内容が分からず、その結果、学習意欲がなくなり、学校から遠ざかる」のも一因のようです。

この事業では、「地域と共に生きる職業人の育成」をねらいに、「義務教育段階の学習内容の定着」、「自立を目指す生活指導」等に焦点化したカリキュラムがスタートしています。

そんな中、中学校卒業までの学習内容を再度学び直し、基礎学力の定着を図ろうとする高校が増えています。横浜市金沢区の神奈川県立金谷利谷(かまひら)や高等学校もその一つです。金谷利谷は「ベーシック」と名付けた時間に、国語、数学、英語の三教科を週替りて実施。課題によってはさらに小学校レベルにまでさかのぼりながら、中学校

卒業までの学習内容を学んでいます。教室では、各生徒が配られた課題プリントに向かい、解答後自己採点するのですが、二人の先生が随時時間巡視しながら質問に答えたり、励ましたりしてくれます。クラス編成は、きめ細かな指導をするために、すべての授業を三十人以下で実施。基礎学力以外にも、就業体験や地域活動への参加を通して、社会性を身につけることにも力を注いでいます。

小中学校での学習につまづいた生徒が、「高校でやり直したい、学び直したい」と考える場合にうってつけです。

今年度の生徒会は、前期スローガン「勇往邁進」をもとにスタートしました。この言葉には、恐れることなく自分の目的、目標に向かってひたすら前進することという意味があり、この言葉のように日常生活や学校生活にも困難はあるけれど、諦めることなくその問題に立ち向かい前進しようという思いを含めてこのスローガンにしました。

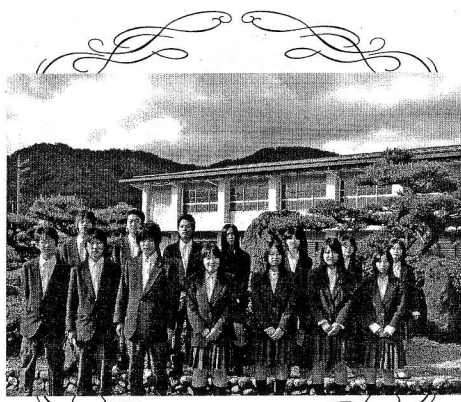


生徒会長 前田 里穂

生徒会活動 勇往邁進

「学び直し」への意欲に答えてやらねばならないと思います。その意味で、本校が今年度から実施している「揖斐Active」の取組は、意味のあるものだと考えています。今年度の「揖斐Active」は、総合的な学習の時間を利用して、一年生が十一時間、二年生が六時間のドリル学習を行います。来年度はそれを学校設定教科として位置づけ、年間三十五時間の充実した取組になるように現在検討しているところで

少しづつ積み上げる着実な取組が、大きな成果となって花開くことを期待しています。



生徒会役員紹介

執行部	
会長	前田 里穂(二二)
副会長	坂 友介(二二)
書記	福田 実優(二二)
書記	岡部社旺里(二二)
会計	宇佐美美穂(二二)
	北村 菜摘(二二)
	北村 菜摘(二二)
専門委員長	
生活	小林 亜美(二二)
文化	岩田 勇基(二二)
体育	前田 清治(二二)
美化	鳥本 弘介(二二)
保健	水野 沙耶(二二)
報道	村橋 勇希(二二)
図書	松田 綺羅(二二)

【平成23年度前期生徒会活動スローガン及び各種委員会の活動内容】

生徒会活動スローガン	勇往邁進
生徒会の主な活動	①各種委員会のバックアップ ②ボランティアへの参加 ③生徒総会の運営 ④文化祭・体育祭の運営

生活委員会	文化委員会	体育委員会	美化委員会	保健委員会	報道委員会		図書委員会	
					放 送	新 聞		
小林 亜美(2年3組)	岩田 勇基(3年4組)	前田 清治(2年2組)	鳥本 弘介(3年4組)	水野 沙耶(3年3組)	村橋 勇希(2年2組)	福田 実優(3年3組)	松田 綺羅(3年3組)	
活動方針	「気持ち切り替えて生活しよう」	「成功へ繋げる文化」	「病気に負けない体作りを運動することを好きになろう」	「意識を高め、全校生徒で学校をキレイにしよう」	「健康的な学校生活を送ろう」	「聴き取りやすい放送をする」	「見やすい新聞作り」	「広めよう読書の輪」
活動の内容	①校旗の掲揚・降納 ②ポスター作り ③挨拶運動	①文化祭準備 ②文化祭	①準備体操の呼びかけ ②体育授業の連絡 ③授業の挨拶 ④貴重品の管理	①掃除の徹底 ②分別の確認 ③掃除用具の点検・補充 ④掃除の点検	①シャボネットの補充 ②換気扇の呼びかけ ③文化祭の発表	①全校集会などのマイクなど放送機器的管理 ②体育祭の放送機器的管理・進行	①新聞のレイアウト、および作成 ②図書当番、図書館の整理 ③オープンライブラリーの活動 ④カルタ普及、練習 ⑤HP活用 ⑥図書館便り「こんべいとう」作成	

家庭クラブ役員紹介

3年生		2年生	
会長	住吉 美穂	副会長	未桜 玲佳
副会長	堀口 未桜	書記	岩田 采実
書記	松田 莉穂	監査	松岡 聖奈
監査	松岡 聖奈	広報	田代 幸平

家庭クラブ活動は、社会的活動、奉仕的活動、研究的活動を実施します。今年度は特にバス停への座布団作りを継続し、季節に応じた座布団を設置する予定です。また施設の訪問も行います。



今年度も充実した活動にしたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。

家庭クラブ活動は、社会的活動、奉仕的活動、研究的活動を実施します。今年度は特にバス停への座布団作りを継続し、季節に応じた座布団を設置する予定です。また施設の訪問も行います。

MSリーダーズ

担当 三年三組 白井 大成

5月25日水曜日、MSリーダーズ証交付式が行われ52名が今年度のMSリーダーズとして、揖斐警察署長に任命されました。揖斐高校の代表として良り過ごしやすい学校を目指し、活動していきます。挨拶運動や交通安全運動を通して、声かけの大切さや命の大切さを伝えていきたいと思います。

揖斐高ショップ 宣伝

地域に愛され貢献する

揖斐高ショップ開店

平成23年10月19日(水)20日(木)

午前9:00～午後2:00

旧樽久店舖(揖斐川町三輪)

揖斐川町産野菜
北海道芽室町の特産品
谷汲あられ各種
揖斐特別支援学校作品
揖斐高校生活環境科作品
など

岐阜県立揖斐高等学校 電話 0585-22-1261

新任の先生紹介

安藤 敏彦校長先生



①地歴・公民(特に政治・経済)
②なし
③写真撮影、万年筆収集、最近は木工も

④両親(特に母親は働きも)ので我慢強い人だった
⑤もともとは別のことがしたかったが、父親の死によって岐阜に戻ってきた
⑥そのとき相談に乗ってくれた姉が高校に勤めていたから

松岡 順先生



⑥心に太陽を持って
⑦風が吹くが、雪が降らうが、天には雲、地には争ひが絶えなからうが
⑧心に太陽を持ってさうすりや、何が来よう
⑨と平気じゃないか
⑩どんな暗い日だってそれが明るくしてくれる(山本有三)

事務長 窪田 晴文



①事務
②なし
③ドライブ
④野口英世
⑤一生懸命

若井 陽子先生



①国語
②吹奏楽
③アウトドア
④たくさんいるので一人に限定できません

⑤高校時代の先生方が、実に楽しそうだったので、(きつと裏では様々な御苦勞がありだったのですが...)
⑥笑門来福

林 美紗先生



①理科(化学・生物)
②バスケットボール(女)
③スポーツ
④両親

山本 裕史先生



①保健体育
②陸上
③釣り
④両親
⑤運動する快さを伝えたいと思つたから
⑥今日も生涯の一日なり

大野 沙織先生



①保健体育
②フエニング
③遠征先でおいしいものを食べること
④菅原智恵子：大学の1つ上の先輩。北京オリンピックで7位入賞した選手。自分にも人にも厳しいが、その分、努力もする。すごい人です。
⑤「将来、自分が何の仕事をしているだろう」と考えた時、教師の姿しか浮かばなかったから。
⑥継続は力なり。能力のあるなしより継続することの結果が決まる。

宇野 尚先生



①英語
②ソフトテニス(女)
③スポーツ観戦、読書(西村京太郎)
④山口良治氏(あこがれの人物です)
⑤教員だった祖父の影響
⑥忘己利他

内田 裕子先生



①家庭
②茶華道
③料理
④両親
⑤高校3年の担任の先生のすすめ
⑥努力

丸山 智恵子先生



①家庭
②フエニング
③旅行
④両親(年をとることに、両親の偉大さやありがた

- ◇インタビュー内容
- ①担当教科
- ②担当部活動
- ③趣味・特技
- ④尊敬する人
- ⑤先生になつたきっかけ
- ⑥好きな言葉

永井 靖也先生



①国語
②ソフトテニス(女)
③読書・ジョギング
④両親
⑤高校時代にお世話になつた先生の影響
⑥笑顔

堀 綾夏先生



①家庭
②なし
③舞台観劇
④両親
⑤学校という場が好きだったから。また、中学、大学での目指したい教員としての出会い
⑥夢への道程も夢

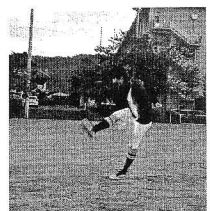
オープンライブラリー



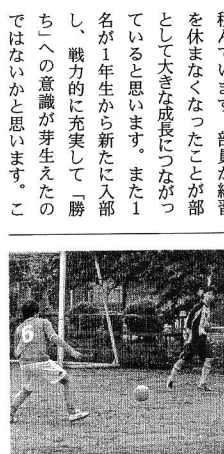
図書委員長 松田 綺羅
図書委員 和木 莉花
和木先生がオーストラリアに行かれた時の実際の経験話を昔の写真を見ながら聞きました。また、カルチャーショックとは何かということもトランプでの遊びを通して体験することができ、とても楽しい講演会でした。
これからも、「オープンライブラリー」を開催していくので、どなたでも気軽に参加してください。

部活動訪問

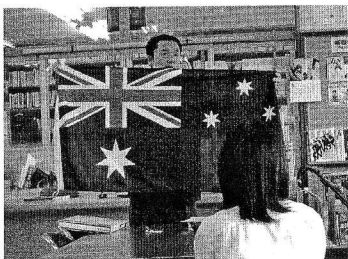
サッカー部 三年二組 若原 康成



今のサッカー部は試合に出られるギリギリの人数のため、苦しい試合が続いています。しかし、「公式戦一勝」を目標に日々練習を積んでいます。部員が練習を休まなくなったことが部として大きな成長につながっていると思います。また1名が1年生から新たに入学し、戦力的に充実して「勝ち」への意識が芽生えたのではないかと思います。このチームで「公式戦一勝」を成し遂げてくれると嬉しいです。しかし、経験者の人数が減り昨年にはなかった悩みも出てきました。ですが、そんな壁と向き合い乗り越える力があると信じています。今のサッカー部は間違いなく進化していると確信しています。そして今月から始まった西濃地区予選で良い試合ができるように日々の練習ががんばっていきたくと思います。



体育祭



第一回の今回は、英語科の和田真樹先生の「コアラと私」というお話を聞きました。タイトルにもあるように、コアラやカンガルーなど、オーストラ

体育委員長 前田 清治
今年度の体育祭のスローガンは、「力戦奮闘」です。「力戦奮闘」とは、力をつけて全力を注ぎ、能力と気力を振いたたせて、一杯戦うということです。揖斐高の体育祭では、青団と赤団の二団に分かれてお互い優勝に向かって、暑い中でも練習に励みます。両団は優勝を目標として

どちらも思い出に残る体育祭にしたいと思ひ、皆ががんばります。体育祭実行委員会や応援団を中心として、一人一人が積極的に競技応援に取り組んでください。どんな小さなことでも全員で協力し、「全力でやっつて良かった、良い思い出になった。」と全員の心の中に残る体育祭となるようがんばりましょう。

吹奏楽部



吹奏楽部は、一年生七人、三年生八人の合計十五人で活動しています。四月に七人の一年生を迎えた時は、「今までよりも迫力のある演奏ができる!」ととてもうれしく感じました。初心者が多い部ですので、三年生は、一年生の指導と自身自身の技術向上のために、毎日の貴重な練習時間を大切にしています。四年前から夏の吹奏楽コンクールに出場しています

が、まだ銅賞しか受賞したことがありません。三年生にとつて最後となる今年は何とか銅賞以上をとれるよう、「全員ソリスト」をモットーに練習に励んでいるところです。
また、コンクール以外で、野球の応援・揖斐川マラソンでのボランティア演奏、様々な活動を行っています。私達が最も楽しみにしているのは文化祭の演奏です。皆さんに最高の音楽をお届けします。

